

- 【日 時】 平成 26 年 2 月 20 日
【訪問先】 高舟台小学校 平石英一校長先生
【概 要】 児童数 633 名 21 学級 各学年 3 学級(1 年生のみ 4 学級)
特別支援学級 2 組 教員 27 名 職員 7 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。』

松井秀喜選手の恩師である星陵高校山下監督の言葉。

2、英語・国際教育の取り組み

外国籍の子は一人だけで、その子も日本語を話すことができるので、特別に日本語指導を必要とする子はいない。両親が日本語を話すことができず、子供が仲立ちをしているケースもある。

3、地域のボランティアの協力

図書ボランティア・読み聞かせボランティアの方がそれぞれ 30 名ほどいて、図書室の本の修理や整理・子供たちへの本の読み聞かせを行っている。また、子供たちの登下校を見守る見送りボランティアの方もいる。

4、地域との防災の取り組み

年に数回避難訓練を行っており、子供たちが常に防災の意識を忘れないよう配慮している。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

地域の方に協力してもらい、琴や尺八など日本の伝統的な楽器を用いた音楽指導を行っている。

また、金沢区内にある称名寺で能教室を開いている。さらに、林区長による出前授業(区内初の取り組み)が行われ、政治を身近に感じる機会が設けられている。

6、体力強化や部活動の取り組み

遊びを通じた運動能力向上がコンセプト。体育委員の子供たちが主体となり、サーキットレース活動を展開している。より積極的に取り組めるように、一定のノルマをクリアした子供たちには校長先生から賞状がもらえるという配慮もされている。

7、学校組織の強化・人材育成

教職員自身の人権意識向上のため、人権についての研修の回数を増やしている。また、若手とベテランという職員の二極化が進んでおり、中堅どころの職員が少ない。現在、元校長先生が週に 2 回の若手指導を行っているが、人材育成が課題になっている。

8、その他

金沢区長による出前授業(区内初の取り組み)が行われ、金沢文庫の再建に尽力した大橋新太郎さんに関する子供向けの資料を作成して授業をしてくれた。区政を身近に感じられたと好評だった。

【所感】

高舟台小学校では、子供たち主体のサーキットレース活動や 区長による出前授業など、他校ではあまり見られない活動が多くあった。熱い信念を持った平石校長先生を中心に、学校全体として独自の学校経営に取り組んでいる様子がよく分かった。

